

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除膵癌症例におけるマイクロサテライト不安定性 (MSI) の発現率とその臨床的意義
	研究目的	切除膵癌症例における MSI-H の発現頻度および臨床的意義を明らかにすることである。KEYNOTE-158 試験の結果、本邦でも新たに MSI-H 膵癌症例に対する治療薬が承認された。一方で膵癌患者における MSI の発現頻度やその臨床的意義は不明な点が多い。そこで切除症例の病理検体を用いて、発現頻度や予後に関する影響を明らかにする。
	研究対象者	2016 年から 2018 年までの 3 年間に神奈川県立がんセンター肝胆膵外科にて膵癌に対して根治切除および S-1 補助化学療法を施行した症例のうち、包括同意書にて「子孫に受け継がれるゲノム情報の解析」に同意している症例。
	研究期間	西暦 2019 年 12 月 25 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	村川 正明
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし